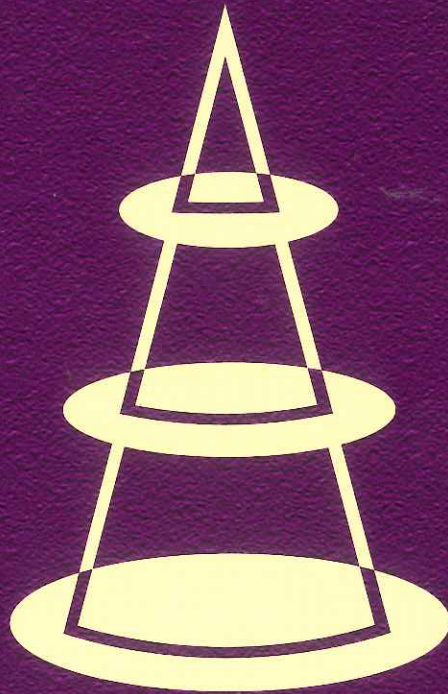


あしたの 街は 私がつくる



2009 第16回 長崎市都市景観賞 作品集

ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長  
田上 富久

2009 長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に、心よりお祝い申し上げます。

「長崎市都市景観賞」は、昭和 62 年に商工会議所青年部の提唱を受けて、長崎市、長崎商工会議所との 3 者により実行委員会を立ち上げ、実施されました。今回で 16 回目を数え、市民の皆様の間にも広く定着してまいりました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

現在、本市では、長崎独自の歴史に育まれた文化や市民性、地理、地形等を強みとして最大限に活かし、長崎の個性をより明確にして、さらに磨きをかけ、他のどこにもない個性的なまちを作ること、いわゆる「長崎化」に取り組んでおります。

また、今年度、長崎市は、安政の開港から 150 周年であるとともに、市制施行 120 周年を迎えており、この節目となる記念すべき年に、長崎の魅力を再発見できるような様々な取り組みを行なっております。

その取り組みのひとつといたしまして、歴史や文化、風俗など、長崎が誇るまちの魅力をみんなで掘り起こし、後世に継承していくために、風景や祭りなど地域の自慢となるものを認定する「わがまちの自慢 120 選」事業を行い、221 件のわがまち自慢を昨年末に認定したところです。

今回の受賞作品は、市街地の優れた建築物に加え、合併によって、新たに長崎市となった地域の景観が選ばれており、これからの長崎のまちづくりに新たな魅力を付け加える結果となっているのではないかと思います。

この様に、地域のまち並みの模範となるような作品を表彰し、それを皆さんに知ってもらうことにより、長崎にしかない景観を守り育て、積極的に景観の向上を実践していただけるような雰囲気づくりをしてまいりたいと考えております。

最後に、今回ご応募いただきました多くの市民の皆様や表彰・選考にご尽力いただきました委員等の皆様に、深く感謝申し上げますとともに、今後とも皆様と力を合わせ、個性あるまちづくりを進めてまいりますので、長崎のまちづくりに、これまでと変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



長崎商工会議所会頭  
松藤 悟

2009長崎市都市景観賞を受賞されました皆様、おめでとうございます。  
心よりお祝い申し上げます。

この賞は魅力ある長崎らしいまちづくりを進めるにあたり、長崎の歴史的背景と地理的特色を生かした特徴ある景観や、周囲の街並みや雰囲気  
に調和し、洗練されたまちづくりに寄与する作品に対して贈られるもので、  
今回で16回目を迎えることとなりました。

これまでに受賞した作品や景観は市内70か所あまりに点在し、長崎らしい都市景観づくりに貢献しています。今回も長崎の景観の魅力をさらに高め、潤いのあるまちづくりに寄与するなど、長崎らしい景観形成のあらたな立役者が選考されました。

さて、本市ではここ数年のうちに、今回選考されました長崎国立図書館をはじめ、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館、さらには女神大橋などの都市基盤施設が整備されまして、都市機能がますます充実されるとともに新たな景観も創出されております。

さらに、今後計画が進みます長崎駅周辺整備事業や長崎市中央部・臨海地域の都市再生事業につきましても、関係各位において検討が進められており、長崎市の景観はまさに大転換期を迎えようとしています。

景観は、その土地の"顔"であるといえます。景観や街並みが移り行くなかで、より魅力ある街であり続けるためには、こうした新たなまちづくりにおいて景観を大きなテーマとして据え、検討しつつ、歴史的かつ地域の特色を持つ景観を顕在化し、次世代に引き継いでいくことが必要であり、私達の使命でもであると存じます。

そうした意味からも本事業は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしやこれまでに培われた歴史、文化などを改めて見直す良い機会であり、長崎らしく調和のとれたまちづくりを促進するとともに、これからのまちづくりを行なううえで重要な役割を担うものであり、誠に意義深い事業であると考えます。

最後に長崎市都市景観賞が、今後とも景観に対する市民の皆様のご理解や関心を高め、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなりますことをご期待申し上げますとともに、今回ご協力いただきました皆様並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、選考委員の皆様へ御礼を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 選考を終えて



長崎市都市景観賞 選考委員会座長  
岡林 隆敏

2009年長崎市景観賞を受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。

長崎市の都市景観賞が発足したのは今から22年前の、昭和62年で、今回で16回目を迎えます。当時はバブル景気の末期で、日本全体が建築ブームに沸き立っていた時代でした。この年長崎市では、長崎市市制100周年を記念して、「旧香港上海銀行」を解体し「国際交流会館」を建設する計画が持ち上がりました。この計画に対して、長崎市の歴史的景観を守る立場から、長崎市民は大きく反対し、「旧香港上海銀行」は現地で保存されることになりました。翌昭和63年12月には、長崎らしい景観を考える機運の中で、長崎市の魅力ある景観を守り育てるために、全国でもいち早く「長崎市都市景観条例」が制定されました。バブル経済と建築ブームの中で、将来の長崎市の都市景観を誘導するような良質な建築を奨励するために、「長崎市都市景観賞」が設けられたのです。

都市景観賞創設から20数年経ちました。バブル経済は崩壊し、浪費の時代から環境に調和した循環型社会の時代に変化してきました。景観の考え方も浸透し、どこの都市においても、景観は都市政策の施策の根幹に置かれるようになりました。さらに、平成17年6月には「都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るための景観法」が施行されました。一方、長崎市は平成17年から長崎半島西南部、西彼杵半島西部など、平成18年には琴海町と市町村合併し、長崎半島から西彼杵半島、さらに大村湾を望む歴史と自然豊かな都市に変化しました。

このような時代の変化を背景に、長崎市都市景観賞は選出する対象が変化しつつあります。今回、大きな建物部門では、景観賞として「長崎市立図書館」が選ばれました。この建物の特徴の一つに、環境の時代を反映した植物に包まれた建築という点があります。奨励賞となった「カトリック西町教会」は、建築年代は昭和43年で、前回受賞の親和銀行大波止支店に次いで、戦後の長崎市を代表する建物として選ばれました。小さな建物部門では、「長崎大学医学部良順会館」が選ばれました。長崎大学医学部の大学構内にありますが、一般の市民にも開放された長崎大学の創設を紹介する資料館になっています。歴史ある部門は、長崎の風情を残した「料亭一力」です。テーマ部門として選ばれたのは旧外海町の「大中尾棚田」です。日本の棚田百選にも選ばれ、棚田オーナー制度などで地域づくりに活躍しているところです。旧長崎市以外のものがはじめて景観賞の対象となり、これまでの景観賞にはない、旧長崎市のスケールを超える雄大な景観が選ばれました。

バブル景気の建築ラッシュの中で質の高い建築を顕彰し、長崎のより良い都市景観を目指して創設された都市景観賞は、設立から20年経ち、環境にやさしい時代にあった建物を評価するようになってきました。また長崎市も周辺町と合併して、豊かな海岸と山岳の自然や魅力ある農村・漁村集落を含むようになりました。このような地域と環境にふさわしい建築物を顕彰することも必要な時代になってきています。

今回の選考に携わった選考委員会の皆様にお礼を申し上げますと共に、長崎市都市景観賞が今後ますます発展することを願っております。

**〔選考委員会〕**

座長

**岡林 隆敏**

長崎大学工学部 教授（土木工学）

委員

**井石 尚子**

ザ・ながさき編集長（マスコミ）

**井上 正雄**

社団法人日本建築家協会九州支部長崎会副会長（建築）

**川端 真理子**

ながさきプレス編集長（マスコミ）

**小林 純一**

長崎県電気工事業工業組合長崎支部副理事長（電気）

**砂崎 達**

社団法人長崎県宅地建物取引業協会長崎支部（宅地建物）

**鉄川 進**

社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長（建築）

**馬場 宣房**

長崎新聞社取締役報道本部長兼デジタルメディア本部長（マスコミ）

**松田 正美**

長崎市造園建設業協同組合（造園）

**宮原 和明**

長崎総合科学大学環境・建築学部 教授（建築）

**三好 定和**

社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部理事（建築）

**吉川 國夫**

社団法人長崎県測量設計業協会（測量）



『大きな建物部門』  
長崎市立図書館



[選考理由]

県庁から市役所にいたる官庁オフィス街にあつて長崎市立図書館前は、ひときわ広がるグリーンポケットのようで涼しげな空間が、往来の人々の足を止める。新しい図書館は新興善小学校の跡地に建ち、図書館・生涯学習・救護所メモリアルホールの3部門で構成され、レンガ調の外壁や正面の壁面緑化がとて目にもやさしい。建物内を貫通する十字形の通路（クロスロード）は、吹抜けのカーテンウォールと緑化ルーバーにより、温熱干渉ゾーンとして機能し、図書閲覧室の快適な環境を保持している。ヒートアイランド現象による地球温暖化が指摘される中で、この建物は屋上緑化や太陽光発電、さらには雨水利用等積極的な取り組みが評価され、自然環境や環境共生型の都市づくりのお手本となっている。グリーンカーテンのつる性植物は、テイカカズラ・ニシキテイカカズラ・オウゴンカズラの3種類であり、その植生がこれからも興味深い。

(三好 定和)

---

所在地：興善町1-1	所有者：長崎市
用途：図書館	長崎市桜町2-22
階数：地上4階 地下1階	
面積：11,658.94㎡	設計：三菱地所設計・安井建築設計事務所設計共同企業体
構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造	(株)三菱地所設計九州支店 執行役員九州支店長 柏尾 栄
(一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造)	福岡市博多区中洲5丁目6-20
	(株)安井建築設計事務所 代表取締役社長 佐野 吉彦
	大阪府大阪市中央区島町2丁目4-7
	施工：鹿島・上滝・西日本菱重興産建設共同企業体
	鹿島建設(株)九州支店 常務執行役員支店長 増永 修平
	福岡市博多区博多駅前3丁目12-10
	(株)上滝 代表取締役社長 上滝 満
	長崎市新地町5-17
	西日本菱重興産(株) 取締役社長 小松 雄介
	長崎市飽の浦町5-3



第16回  
長崎市都市景観賞  
2009

『小さな建物部門』  
長崎大学医学部「良順会館」



Photo : Koshimizu Susumu



Photo : Koshimizu Susumu

[選考理由]

この建物は、長崎大学医学部創立150周年を記念し、同窓会生涯学習国際センターとして計画された施設である。良順会館の名前はポンペとともに長崎大学医学部の創始者である松本良順にちなんで命名されている。この年（1857年）は奇しくも長崎で煉瓦が軍艦ヤッパン丸（後の咸臨丸）に乗ってきたハンデスによってつくられた年でもある。建物の外観は、煉瓦積の壁と軽やかなカーテンウォールのデザインを対比させている。煉瓦は、同窓会の「積み重ねられた歴史」と「日本最初の医学校の歴史」を、カーテンウォールは「明るい未来」を表しているのかもしれない。大学のキャンパス内の施設であるのが惜しまれるが、キャンパス内の原爆遺構や顕彰碑を含め、来訪者（観光客・平和学習など）にとってもバリアフリーの対応を含めてわかりやすい動線計画になっている面白い建物である。（井上 正雄）

所在地：坂本1丁目12-4

用途：会議場 ほか

階数：2階

面積：1,028.77㎡

構造：鉄筋コンクリート、一部鉄骨造

所有者：国立大学法人長崎大学医学部  
長崎市坂本1丁目12-4

設計：インターメディア1級建築士事務所  
代表者 佐々木 信明  
島原市有明町湯江甲263

施工：宅島建設㈱ 代表取締役 宅島 壽雄  
雲仙市小浜町南本町7-22



『歴史のある部門』  
料亭「一力」



【選考理由】

200年近い歴史を持つ老舗の料亭である。受賞の対象となる建物は大正6年に建築され、幾多の改装を重ねながらも往時の姿を現在にとどめている。この料亭が位置する寺町通りは東側にお寺が、西側に町屋が静かに連なっているが、その街なみがぼっかり途切れた空間に、引き込むようにこの料亭の門と塀が現れる。塀からのぞく、今では造ることのできない多層階の木造建築とうっそうと茂る木々は、そこから幕末の志士達が現れてもおかしくないような雰囲気醸し出している。(鉄川 進)

所在地：長崎市諏訪町8-20  
用途：店舗  
階数：2階  
面積：747.08㎡  
構造：木造瓦葺

所有者：料亭 一力  
代表取締役社長 山本 きよみ  
長崎市諏訪町8-20





第16回  
長崎市都市景観賞  
2009

『テーマ部門』

四季折々の表情が美しい田園景観賞「大中尾棚田」



[選考理由]

大中尾棚田は、神浦川右岸にあり、1746（延享3）年頃の開拓とされている。神浦川の上流の堰より延々4キロメートルの水路で水を誘導し、この棚田に用水している。西彼杵半島南西面の深い広葉樹林に囲まれた急峻な地形の中に、開放的で雄大な棚田が広がっている。周辺の深い森林、棚田と周辺の農家が、永い生活の営みの中で育んできた豊かな文化的景観を構成している。春の新緑、田植えの季節、夏の青田、実りの秋、稲株の並ぶ冬の棚田など、四季折々変化する景観となっている。すでに、日本棚田百選に選ばれている。（岡林 隆敏）

所在地：神浦下大中尾町  
用途：水田  
耕作面積：約9ha

保全団体：大中尾棚田保全組合 代表 廣山 昭作  
長崎市神浦下大中尾町792-1



『大きな建物部門』  
カトリック西町教会



[選考理由]

この教会が建設された1960年代は、日本の高度成長時代で、伝統からモダンのデザイン潮流の影響を受けた教会建築といえる。天を突く支柱から扇状シェル屋根と平面は、内部空間の光と形態の上質の融合を醸し出している。この象徴的な形態と相まって、地域のランドマークとして、夜のライティング等にも工夫がなされ、地域に愛され根付いた景観として評価できる。築後40年を経て、リニューアルされた建物は当初の雰囲気と少し異なるが、地球温暖化問題をきっかけに建築の長寿命化が言われており、その視点からも評価できる。(宮原 和明)

所在地：音無町9-34  
用途：教会  
階数：地上1階 地下1階  
構造：鉄筋コンクリート造

所有者：カトリック西町教会  
主任司祭 ジェブーラ・エウゲニウス  
長崎市音無町9-34

設計：(株)凡建築設計事務所 代表取締役 築瀬 悦司  
埼玉県さいたま市緑区太田窪3丁目7-3

## 長崎市都市景観賞表彰作品一覧

年度	種別	物件名	所在地
昭和62年度 (5件)	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧)カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
平成元年度 (5件)	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蜚茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
平成3年度 (5件)	都市景観賞	(旧)川口鼈甲店	浜町7番13号
		シーボルト通り	新大工町
		(旧)長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
	奨励賞	(旧)泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
平成4年度 (4件)	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		(旧)矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
平成5年度 (4件)	都市景観賞	(旧)金子建設株式会社本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
奨励賞	復元唐船「飛帆」	—	
平成6年度 (2件)	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
平成7年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門)長崎電気ビル	城山町3番19号
		(歴史のある部門)常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		(テーマ部門:歴史ロマン賞)龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	(小さな建物部門)(旧)林兼石油(瀬浦上)給油所	松山町4番41号
平成8年度 (5件)	都市景観賞	(小さな建物部門)三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		(歴史のある部門)岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		(テーマ部門:建築エコアップ賞)賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	(大きな建物部門)長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		(テーマ部門:四季プロムナード賞)文教通り	文教町、大橋町
平成9年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門)長崎科学館	油木町7番2号
		(歴史のある部門)深堀の石堀群	深堀地区
		(歴史のある部門)宝製綱株式会社	小曾根町1番39号
	奨励賞	(小さな建物部門)高野眼科医院	平野町10番3号
		(テーマ部門:ベイサイドシンボル賞) 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	飽の浦町1番1号

年度	種別	物件名	所在地
平成10年度 (7件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 福砂屋本店	船大工町3番1号
		(歴史のある部門) 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	(大きな建物部門) ホテルモンテ長崎	大浦町1番22号
		(小さな建物部門) 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		(小さな建物部門) 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		(テーマ部門: 四季プロムナード賞) サントス通り	上野町、橋口町、岡町
		(テーマ部門: 自然賞) 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長
平成11年度 (3件)	都市景観賞	(小さな建物部門) 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		(歴史のある部門) 料亭 富貴樓	上山町5番4号
	奨励賞	(テーマ部門: プロムナード賞) 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
平成13年度 (6件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 小野原本店	築町3番23号
		(歴史のある部門) 長崎大学経済学部 瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		(テーマ部門: さかみち部門) どんどん坂	南山手町
	奨励賞	(大きな建物部門) 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		(大きな建物部門) 九州電力株式会社新地変電所	新地町6番10号
(大きな建物部門) 長崎出島ワーフ	出島町1番1号		
平成15年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		(テーマ部門: 建築リニューアル賞) 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		(テーマ部門: 街角ディスプレイ賞) 福砂屋 松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	(大きな建物部門) 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
		(小さな建物部門) 八幡町公民館	八幡町3番9号
平成17年度 (6件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎県美術館	出島町2番1号
		(小さな建物部門) ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		(歴史のある部門) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	(大きな建物部門) 斜行エレベーター	上田町、相生町
		(テーマ部門: 動く風景賞) 超低床電車	—
		(テーマ部門: 赤煉瓦塀のあるプロムナード賞) 三菱通り	飽の浦町1番1号
平成19年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		(小さな建物部門) BAR 猪ノ口屋	栄町4番11号
		(歴史のある部門) 文明堂総本店	江戸町1番1号
		(テーマ部門: 鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞) 寺町通り	寺町



長崎市都市景観賞表彰実行委員会